



2022 年度 日本医科大学

【 講 評 】

今年第1問が、発音・アクセント・語彙・正誤問題、第2問が長文読解問題、第3問が自由英作文であった。昨年度は第1問が長文読解問題、第2問が発音・アクセント・語彙問題、第3問が自由英作文であったので、大問の構成が変わったことになるが、全体として試されている事項には大きな変化はなかった。文法上の誤りを指摘する正誤問題が2問出題されているが、これは2019～2021年までは出題されていなかったものである。長文読解は、2000語程度の英文を扱った問題1題が出題されている。2020年度までは、長文読解問題は、2題から3題であったが、2021年に超長文が1問になり（2021年は1850語程度）、この形式を踏襲したものである。英文自体は特に難しいものではないが、とにかく長いので集中力を切らさないで読解できたかが得点をとるカギとなる。英文をいくつかのパートにわけて、パートごとに解ける問を解いていくと、混乱なく解答が出せるはずである。昨年度よりも、記述問題が増えているので、時間が足りなかった生徒も多いのではないと思われる。私立大学ではあるが、客観問題以外に、記述問題の解答の作成の仕方を練習できていたかどうか、得点をとるカギとなっている。また、読解問題に時間がかかりすぎ、自由作文に十分な時間がとれなかった受験生も多いのではないと思われる。

【 解 答 ・ 解 説 】

[I]

問1 a, d, e

- a. ex-cúse (第2音節にアクセント)
- b. éx-pert (第1音節にアクセント)
- c. in-ter-fére (第3音節にアクセント)
- d. mu-sí-cian (第2音節にアクセント)
- d. per-cén-tage (第2音節にアクセント)

問2 d

- a. círcumstance : 第一アクセントがある母音は[ə:(r)](ㇿー)
- b. prefér : 第一アクセントがある母音は[ə:(r)](ㇿー)
- c. púrchase : 第一アクセントがある母音は[ə:(r)](ㇿー)

d. *référence* : 第一アクセントがある母音は[e] (エ)

e. *resérve* : 第一アクセントがある母音は[ə:(r)] (アー)

なお、「アー」という音は、*-ar-*というスペリングでは[a:r] (アー) とはっきり発音し、*-er-, -ir-, -ur-, -or-, -ear-*というスペリングでは[ə:(r)] (アー) というあいまいな音になる。この規則の例外の単語として、*heart* [há:(r)t]がある。

問3 b, c, d

*có*mfortable は、第一アクセントがある母音は[ʌ] (「お」か「う」の口の形をして (ア) と発音)

a. *ó*range : 第一アクセントがある母音は[a] (ア) または[ɔ] (オ)

b. *ó*ven : 第一アクセントがある母音は[ʌ]

c. *stó*mach : 第一アクセントがある母音は[ʌ]

d. *ú*pward : 第一アクセントがある母音は[ʌ]

e. *vó*luntarr : 第一アクセントがある母音は[a] または[ɔ]

問4 (1) e (2) a

(1) to mix with a liquid and become part of it 「液体と混ざり合い、その液体の一部になる」

(2) to make something known publicly 「ある事柄を公に知らせる」

a. disclose 「(情報)を公開する、公表する」

b. disguise 「～を変装させる、(感情・事実)を隠す」

c. dismiss 「(考え・意見)を退ける、～を解雇する」

d. dispose 「(dispose of～で)～を処分する」

e. dissolve 「(水に) 溶ける、溶解する、～を溶かす」

したがって、(1)に当てはまるのは dissolve で、(2)に当てはまるのは disclose。

問5 (1) c (2) e

(1) something that is thought to be true or likely 「本当である、あるは、あり得ると考えられていること」

(2) the act or process of supplying something 「何かを供給する行為、あるいは、過程」

a. precision 「正確さ」

b. prescription 「処方、処方箋」

c. presumption 「(確定的な証拠がない) 推定」

d. prosecution 「起訴、告訴」

e. provision 「提供、準備、規定」

したがって、(1)に当てはまるのは presumption、(2)に当てはまるのは provision。

問6 (1) c (2) b

(1) exactly the same 「正確に同じ」

(2) intended to be kept secret 「秘密にしておくように意図された」

a. authentic 「本物の」

b. confidential 「機密の、極秘の」

c. identical 「同一の」

d. notorious 「悪名高い、評判の悪い」

e. peculiar 「特有の」

したがって、(1)に当てはまるのは identical、(2)に当てはまるのは confidential。

問7 (1) e (2) a

(1) to gradually weaken or destroy something 「何かを徐々に弱らせる、あるいは、破壊する」

(2) to make something hard to see 「何かを見えにくくする」

a. blur 「ぼやける、～をぼやけさせる」

b. irritate 「～をいら立たせる」

c. soak 「(水など)に浸す、浸る、～をずぶ濡れにする」

d. terminate 「～を終結させる、～を終了させる」

e. undermine 「～の土台を壊す、～を徐々に弱らせる、～を徐々にむしばむ」

したがって、(1)に当てはまるのは undermine で、(2)に当てはまるのは blur。

問8 (1) c (2) b

(1) firm, final, and complete 「確固たる、最終的な、そして、完成した」

(2) quick, energetic, and active 「素早く、活力があり、そして、活発な」

a. ample 「十分以上にある、豊富な」

b. brisk 「てきぱきした、(動きが)活発な」

c. definitive 「最終的な、確定的な」

d. dreadful 「恐ろしい」

e. tolerant 「寛容な、耐性のある」

したがって、(1)に当てはまるのは definitive で、(2)に当てはまるのは brisk。

問9 e

問題文の意味：「石炭、石油、そして、天然ガスを含む化石燃料は、150年以上もの間、経済活動にエネルギーを提供してきた。そして、現在、世界のエネルギーの約80%を供給している。化石燃

料は、炭素を多く含む動植物の遺骸が、地中で分解し、圧縮され、熱せられて出来上がったものである。」

(a)の have been powering は Fossil fuels を主語にする現在完了進行形（継続を表す）の動詞。power は、この場合、「～に動力を与える」という他動詞。

(b)の currently supply は、直前の and により、have been powering と並列に並べられた supply（現在形の動詞）に副詞 currently を添えたもの。supply の主語は Fossil fuels。

(c)の remains は「残存物、遺骸、遺跡」という名詞。

(d)の were compressed は、前にある decomposed（過去形の動詞）と and により並列に並べられている。後ろにある heated は、and により、compressed（受動態を作る過去分詞）と並列に並べられている過去分詞。

as they discomposed and were compressed and heated underground

問 10 b

問題文の意味：「石炭は、主に、電気を生み出すために使われている。そして、2020年には、アメリカのエネルギー消費の19%を供給した。天然ガスや代替エネルギーのコストが安くなり、石炭の競争力が減って、石炭の消費量の割合は、徐々に減っている。」

問題文の～19 percent of U.S. energy consume の、U.S. energy consume は、前置詞 of の後に続く 名詞 である。従って、consume（動詞）は consumption（名詞）でなければならない。

[II]

問 1 1 proved（または proven）

2 conducted

3 emerging

4 avoid

5 disturbs

6 define

1 : 1 の直後には、形容詞 valuable があるので、valuable がこの動詞が伴う補語である。また、前に have があるので、1 には、現在完了形を作る過去分詞が入る。従って、問題文は have also Vp.p. valuable という第2文型の現在完了形になる。選択肢の中で第2文型を作ることができる動詞は prove しかない。(prove+C「結局 C である(と判明する)」) ただし、prove の過去分詞は、proved と proven があり、どちらも可。ちなみに、「証明済みの、実証済みの」という形容詞としては proven しか使えない。

2 : 2 には、Jakob Nielsen を主語にする動詞が入る。

In 2006, Jakob Nielsen, [a long time consultant ~], 2 an eye tracking study of Web users

S

, [Jakob Nielsen の置き換え],

V

O

この段落では、第1段落で述べられている eye-tracking experiments (視標追跡実験) の具体例を述べているので、この文は、「2006年に、ヤコブ・ニールセンがインターネット利用者の視標追跡の研究 (an eye tracking study of Web users) を行った」という意味の文になるはず。選択肢の中で「研究を行う」という意味になる動詞は、conduct だけ。また、In 2006 とあるので、過去形にすべき。

3 および 4 :

空所 3 と 4 を含む文と、次の段落の第一文を読むと、この部分の趣旨が理解できる。

“It is clear that users are not reading online in the traditional sense,” the authors of the study reported, “indeed, there are signs that new forms of ‘reading’ are 3 as users ‘power browse’ ~. It almost seems that they go online to 4 reading in the traditional sense.

The switch from reading to power-browsing is happening very quickly.

(訳:「このサイトの利用者は、ネット上では、伝統的な意味での読むという行為は行っていないことは明らかだ。」と、この研究の著者たちは報じた。「実際、利用者は~*パワーブラウジングしており、「読む」新たな形態が 3 している兆しがある。伝統的な意味での読むという行為を 4 ためにネットを利用しているようにも思える。」読む行為から、パワーブラウジングへの移行が、非常に急速に生じている。)

*パワーブラウジング: ネットから素早く情報得るために、流し読みや飛ばし読みで、大量な情報を短時間で閲覧すること。

上の訳の下線を引いた4か所の部分を見ると、『伝統的な意味では、「読む」ことをしなくなり、新たな形態の「読む」行為 (=パワーブラウジング) を行うようになりはじめている』という趣旨のことを述べていることがわかる。したがって、3 に、emerging を入れると「読む新たな形態が姿を現している」という意味になり、4 に、avoid を入れると「伝統的な意味で読むという行為を避ける」となり、趣旨に合う。なお、4 の直後には reading という表現があるが、avoid は、動名詞を伴うことができる動詞なので、語法的にも正しい表現と言える。

5 : ~[the constant shifting of our attention when we're online] may make our brains more effective when it comes to multitasking, but [improving our ability to multitasking] actually 5 our ability to think deeply and creatively. “Does [optimizing for multitasking] result in better functioning — that is, creativity, inventiveness, productiveness? The answer is, in more cases than not, no,” says Grafman.

(訳: ネットを利用している時に、注目を向ける部分を絶えず変えることによって、複数の作業を同時にこなすことに関しては、脳が効果的に働くようになるかもしれない。しかし、複数の作業を同時にこなす能力を高めることは、実際、深く、創造的に考える能力を 5 する。「複数の作業を同時にこなすために脳を最適化することで、脳の働きは高まるのだろうか? つまり、創造性、創作力、生産性は高まるのだろうか? 答えはたいていの場合は、ノーだ。」とグラフィマンは言っている。)

but を挟んで、「ネットでの閲覧の仕方が人間の脳に与える影響」についての2つの対比的な意見を述べている。but の前では、「ネットを閲覧する際に、絶えず注目の的を変えることによって、脳は multitasking を効果的に行えるようになる」と述べている。but の後では、「そのことが、創造的な思考にはマイナスである」という趣旨のことを述べている。したがって、5 には、disturb (「~を邪魔する、阻害する」) を入れると趣旨に合う。ただし、この文は、現在形の文であり、5 の主語は

[improving our ability to multitasking]という動名詞句である。動名詞句は3人称単数扱いでなので、3人称・単数・現在形である disturbs を入れる。

6 : only if we 6 intelligence by the Net's own standards (「ネット独自の基準により知性を6する場合にのみ」と次の文の If we take a broader and more traditional view of intelligence (「知性についてもっと広範囲な、伝統的な見方をする場合には」) が対比になっている。また、by ~ standards の by は「判断基準」の by なので、6 には、「判断する」といったような意味の動詞が入る。選択肢でこの条件に最も合う語は、define 「～を定義する」である。

問2 2 : ページの一番上の最初の2, 3行は、端から端まで目で追い、次に、少し下に視線を下ろし、2, 3行を行の半ばあたりまで目で追い、最後に、視線を左下の端に動かすといったように、F字型に視線を移動させてスキミングを行うという特徴。

the characteristics of skimming behavior found by monitoring people's eye movements (「人々の目の動きを監視することによってわかったスキミング(すくい読み)の特徴」) が書かれている段落の番号の指摘と、その内容を答える問題である。第2段落第3文の Nielsen found that ~ から、その説明が始まり、第4文に、「スキミングを行う際に『F字型』(a pattern that resembled the letter F) の視線の移動をする」という抽象的説明があり、第5文以降で、「『F字型』の視線の移動の様子」を具体的に説明している。説明問題では、抽象的表現は具体的に表現し直すことが原則なので、「F字型の視線の移動」とはどのようなものを具体的に説明すればよい。

問3 6 : 情報源である記事や本を1, 2ページ閲覧しただけで、次の情報源に移動してしまい、一度閲覧した情報源に戻ることはめったにないといった特徴。

the characteristics of skimming behavior seen in people visiting academic research sites (「学術研究のサイトを閲覧する人々にみられるスキミングの特徴」) が書かれている段落の番号の指摘と、その内容を答える問題である。第6段落第4文の The scholars found that ~ から、その説明が始まっている。第4文では、「1つの情報源から別の情報源へと素早く飛び(hop quickly)、一度訪れた情報源にはめったに戻らない」という「独自のタイプのスキミング活動」(a distinctive form of skimming activity) についての説明が書かれている。第5文の read at most one or two pages of an article or book before “bouncing out to another site (「別のサイトに飛ぶ前に、記事や本のページはせいぜい1, 2ページしか読まない)」という記述は、第4文の hop quickly (「素早く飛ぶ」という表現の具体化である。第6文では、このような閲覧の仕方を new forms of 'reading' (「新しい形態の読み方」、そして、'power browsing' (「パワーブラウジング」) という表現で抽象的に言い換えている。したがって、new forms of 'reading'、'power browsing' という抽象的表現を具体的に説明している第4文と第5文を中心に解答をまとめる。

問4 9 : 文章の要旨を理解し、じっくりと読むに値する文章かどうかを判断するという目的。

the purpose of skimming in the traditional sense (「伝統的な意味でのスキミングの目的」) が書かれている段落の番号の指摘と、その内容を答える問題である。第9段落第2文の in order to get the gist of a pieces of writing and decide whether it warrants more thorough reading の部分に「従来のスキミングの目的」が書かれている。この部分にある gist (「要点、主旨」) は、比較的頻度が高い単語なので、知っておきたい単語である。warrant には、「～を保証する」と「～に値する」があるが、この場合は「～に値する」である。

問5 従来は、文章をじっくりと読み、個人の知識を育てていたが、今や、ネット上でデータを探し、集めることへと知識の獲得の仕方が変化している。これは、狩猟・採集の生活から、食料を栽培する生活へと進化した文明の進化に逆行するものであり、困った問題であるということ。

下線部(4)は、直前の What we're experiencing is, in a metaphorical sense, a reversal of the early trajectory of civilization (「私たちが経験していることは、比喩的な意味では、文明が昔進んできた道に逆行することなのである」) という抽象的な表現の言い換えである。したがって、「私たちが経験していること」とは何か、「文明が昔進んできた道に逆行する」とはどういうことか、を具体的に説明できているかどうかは解答のポイントである。筆者は、「知識の獲得の仕方」を「食料の獲得の仕方」に譬えている。「深く読む」という従来の読み方を、「作物の栽培」に譬えて cultivators of personal knowledge (「個人的知識を栽培する者」) と表現し、「ネットでのスキミングやスキャン」を、「原始時代の食料の狩猟・採集」に譬えて hunters and gathers in the electronic data forest (「電子データの森の中での狩猟・採集の民」と表現している。「比喩表現」は、その具体的な意味を説明すべきであるので、下線部(4)の evolving from being cultivators of personal knowledge to being hunters and gathers in the electronic data forest は、『深く読む』という知識の獲得の仕方から、『スキミングやスキャン』によるデータの収集への移行」を意味していることも説明すべきである。

問6 (い) : 第12段落で、「複数の作業を同時に行う能力を高めると、深く、創造的に思考する能力を阻害してしまう。」という趣旨のことが書かれているが、選択肢(い)はこの趣旨と矛盾するため。

選択肢(い) becoming better at multitasking likely allows people to solve problems more creatively.

(「複数の作業を同時に行うことがうまくなることは、おそらく、人々がより創造的に問題を解決することを可能にする。」)

第12段落の第2文以降で書かれている内容と矛盾していることが書けていればよい。

問7 a, d

a : 「彼は、ものを読むときには、人々の視線が、一点から、別の点へとジャンプすることに気づいた。」

第1段落の第2文の **Their visual focus advances in little jumps, pausing briefly at different points along each line.** (「彼らの視覚の焦点は、各行で、様々な点で一瞬止まり、少しずつジャンプして進んでいく」と一致。

b : 「彼は、目の動きのパターンは、読む題材に左右されると気づいた。」

第1段落の第3文にあるように、このことに気づいたのは、ジャバルの同僚の一人である。

c : 「彼は、人々の文章の読み方を研究するために視標追跡実験を用いた最初の人物だった。」
本文に言及なし。

d : 「彼は、19世紀後期にパリ大学で研究していた。」

第1段落、第1文に1879年とあり、第3文では、「パリ大学でのジャバルの同僚の一人が、すぐに、別の発見をした」という記述があるので、1879年ごろ(19世紀後期)、ジャバルがパリ大学で研究していたことが推測できる。

問8 c

a : 深く洞察して表現された

b : 少々無作法に述べられた

c : 不要な単語を使わずに述べられた

d : 急いで述べられた

succinct 「(表現が) 簡潔な」を知っている受験生は少ないであろう。しかし、**His succinct answer** の具体的内容を「**They don't.**」という2語で表現で説明していることから、cが最も適切であることは推理できるはずである。

問9 d

On the Web, A **leisurely browsing.** (「ネット上では、ゆったりと閲覧する A。」)

この文を含む第5段落は、第1文の、**those statistics underscore just how quickly we leap between pages when we're online.** (「それらの統計は、ネットを閲覧する時に、何と素早くページからページへと飛ばし読みするかを強調している」という内容を具体的に説明している段落である。そのことを考えれば、 A を含む文は、「ネット上では、ゆったりと閲覧することはない。」という趣旨の文になるべきである。また、その次の文の **We want to gather as much information as quickly as our eyes and fingers can move.** (「目と指が動く限り、多くの量を集めたい速さで、できるだけ多くの情報を集めたいと思う。」という内容からも、 A を含む文は「ネット上では、ゆったりと閲覧することはない。」とい趣旨の文であることがわかる。選択肢dを入れると、**On the Web, there is no such thing as leisurely browsing.** (「ネット上では、ゆったりと閲覧するといったようなことはない。」) となり、適切な内容の文になる。

問10 b

第 5 段落の趣旨を選ぶ問題である。そもそも、趣旨選択問題は、具体例自体を述べた選択肢は除外するので、ドイツ人という具体例を挙げている選択肢 a と、19 秒という具体的数値を挙げている選択肢 c は、候補から除外してよい。第 5 段落は、第 1 文の、**those statistics underscore just how quickly we leap between pages when we're online.**を様々な国の具体例を挙げて説明している段落である。したがって、b の「多くの国のインターネットユーザーが、それぞれのページを読むのに多くの時間を費やしていない。」が趣旨として最も適切である。

問 11 c

「以前ほど人々が集中して文章を読むことに時間を費やしていないことを発見した研究者」を選ぶ問題である。第 7 段落第 2 文以降に、Ziming Liu が行った調査の説明が書かれている。この段落の最後の 2 文で、「27%だけが、詳細に読むことに費やされる時間が増えたと述べ、一方、45%がその時間が減っていると述べた。また、ほんの 16%が持続的に集中して読むことが増えていると述べ、50%が持続的に集中して読むことが減っていると述べた。」ということが書かれている。したがって、解答としては Liu が適切である。

問 12 a

advent 「出現、到来」は比較的頻度が高い単語なので、知識として知っておくべきである。

問 13 a (設問ミス)

- a. 重要でない、(数量・程度が)わずかな
- b. 強烈な、熱心な、集中した
- c. (同種のものなかで) 目立った、際立って優れた
- d. 個人的な、自らの

superficial は「表面的な」という意味の頻出単語である。「ものごとを深く捉えない」という意味だが、選択肢の中に適切なものはない。英英辞典の定義では、**superficial: not studying or looking at something carefully and only seeing the most noticeable things** (「何かを注意深く見ないで、最も目立ったものしか見えていない」とあるので、ひょっとすると日本医科大は、この定義の noticeable (「目立った」という部分だけに注目して c の outstanding (「目立った、際立って優れた」) を正解にしている可能性が疑われるが、だとすれば大きな勘違いである。outstanding level という表現は、「他のレベルよりも際立って優れたレベル」となり、誉め言葉になってしまう。問題文では **explore my topics extensively, but at a more superficial level** (「多くの話題を**広範囲**に探るようになった**が**、より表面的に探るようになっている」と言っているので、superficial は少なくともマイナスの意味でなければならない。したがって、敢えて選ぶとすれば a ということになるが、納得しかねる問題である。日本医科大は、このような理解しかねる「同義語選択問題」出題することがあるが、このような問題はこだわらない方が得策である。

問 14 a

we should become more adept at quickly distinguishing among competing informational cues, analyzing their salient characteristics, and judging whether they'll have practical benefit for whatever task we're engaged in or goal we're pursuing.

(「私たちは、異なることを述べている情報の手がかりを素早く区別し、それらの目立った特徴を分析し、それらが自分たちが取り組んでいる作業、あるいは、自分たちが追及している目的に、実際に有益なものかどうかを判断するのが巧くなるはずである。」)

問われている they(3人称複数概念を指す代名詞)の前には、3人称複数の概念は、competing informational cues と their salient characteristics しかないので、theyは、これらのどちらかを指す。この段落の最終文 It took an experienced browser only a few seconds to make an accurate judgment about whether a page was likely to have trustworthy information (「あるページが信頼できる情報を含んでいる可能性が高いかどうかについて正確に判断するのに、経験を積んだネットの閲覧者には、ほんの数秒しかかからなかった。」) が、theyを含む文の具体例であることに気づけば、この2つの文の whether 節(上で示した2つの英文の下線部)が対応していることがわかる。したがって、a pageが theyの具体例ということになるが、a pageは、「情報上の手がかりとなるもの」(informational cues)の具体例と言えるが、「目立った特徴」(salient characteristics)の具体例とは言えない。したがって、theyが指すものは informational cues である。

問 15 b

In paragraph 10, the author of the text mentions the study about playing action games

(「第10段落では、著者は、アクションゲームで遊ぶことについての研究を(...)述べている。」)

この文を完成するのに最も適したものを選ぶ問題である。

- a. アクションビデオゲームで遊ぶことは、頭を使わない活動だということを例示するために
- b. コンピューターを使うことが、いくつかの脳の機能を高めることができるということの例を示すために
- c. ゲームをすることが人間の脳に及ぼす有害な影響を示すために
- d. ウェブページの利用者とテレビゲームのプレイヤーの類似性を示すために

第10段落の第1文に、There are compensations. (「(損失の) 埋め合わせがある。」) と書かれている。前の段落では、ネットの閲覧によるマイナス面を述べているが、この段落では、「それを埋め合わせるいくつかの良い面(some compensations)を述べるということがわかる。そして、第2文の「ある特定の認知技能が、コンピューターやネットの利用によって、かなりの程度強化されると、研究が示している。」という内容が、第1文の抽象主張を具体化している。この具体例として、アクションゲームで遊ぶことについての研究が取り上げられているので、bが正解ということになる。

[Ⅲ]

The author argues that online reading, in which you get information mainly by skimming and scanning on your computer, may improve some cognitive skills, such as visual-spatial skills, multitasking skills and skills for fast-paced problem solving, but that it undermines your ability to think deeply and creatively.

I partly agree. Online reading apparently reduces your ability to think deeply. There are a lot of people who browse websites and accept information provided there without thinking critically. There are also a large number of people who visit websites only to find information which supports what they already believe. Those people can't think creatively. In this respect, I think the author is right.

However, in another respect, I disagree with the author. The author thinks that online reading may make you good at multitasking. I don't think so. If you can't think carefully and deeply, you will make many careless mistakes while multitasking. Doesn't it mean that you are poor at multitasking?

[Ⅱ]で述べられている online reading に関する筆者の意見を要約し、それに対する賛否を述べる問題である。筆者の意見の要約としては、「online reading によって、いくつかの認知能力は高まるかもしれないが、深く創造的に思考する力が阻害される」といった内容をまとめる。

また、自分の意見を書く自由英作文では、**抽象的な表現**→**具体化または具体例**という流れで意見を書けば、採点者に自分の意見を理解してもらいやすいし、字数も稼ぎやすい。

お問い合わせは☎0120-302-872

<https://keishu-kai.jp/>